

令和7年度 兵庫県における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和6年度	令和7年度	計	令和7年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	986,602,198	170,399,908	1,157,002,106	91%	市町の林務行政の一層の推進及び林業の担い手育成にかかる施策に充当予定
譲与額（円）	1,071,786,000	203,441,000	1,275,227,000		

■令和7年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	ひょうご森づくりサポートセンター運営業務	58,589,850	58,589,850	森林整備・木材利用について、知識や技術が不足し、体制が不十分な市町に対し、ひょうご森林林業協同組合連合会と兵庫県木材業協同組合連合会内に「ひょうご森づくりサポートセンター」を設置し、森林整備事業等に係る業務を支援
森林整備	森林クラウド活用情報高度化事業	24,822,873	24,822,873	樹種、林齢、面積、施業履歴等の森林情報を県・市町・森林組合等の関係者がクラウド上で一元的に管理できるシステムを構築するとともに、継続的な搭載データの拡充及び精度向上により円滑な森林整備を支援
人材育成	森林環境譲与税を活用した市町職員等への講座	22,735,039	22,735,039	県立森林大学校において、市町職員や林業事業体職員等を対象とした講座を設置し、森林・林業に関わる人材を育成
人材育成	県産広葉樹苗木生産者育成事業	970,200	970,200	針広混交林や広葉樹林化等の県民の多様な森林整備のニーズに対応するため、広葉樹の利活用や苗木生産技術などの基礎知識を学ぶ研修会を森林ボランティア団体、森林組合や市町の職員を対象に開催
木材利用	ひょうごの森づくり・木づかい普及啓発推進事業	48,243,350	48,189,350	森林環境税の目的、使途について県民の理解を得るための啓発イベント開催や県産木材の利用促進を図るため、県産木造住宅やCLT等を活用した非住宅の普及啓発を展開
基金積立		33,041,092	33,041,092	
合計		188,402,404	188,348,404	
基金残高		121,518,900		
				未執行額・基金運用益等の積み立て

■事業実績

①ひょうご森づくりサポートセンター運営業務

専門知識、人員の不足する市町に対し、ワンストップ相談窓口を設置し、市町が実施する森林整備や木材利用等の森林環境譲与税活用事業の促進を図った。



全市町 取組カルテ（森林整備）

②森林環境譲与税を活用した講座

県立森林大学校において、森林林業の担い手確保・育成を強化するために、林業事業体のリーダー人材を育成するための高度化研修や一般県民を対象とした森林セラピー等の研修を実施。



樹上作業を想定した高度化研修

③ひょうごの森づくり・木づかい普及啓発推進事業

多くの集客が見込める民間施設等について県産木材による木質化を支援。また、中大規模木造建築物の設計ができる建築士を養成する講座等の開催。



ひょうご木の街木質化推進事業
炭火焙煎カフェ旧醤油蔵（神戸市）



兵庫木造建築セミナー
講義風景（三木市）

「ひょうごの木」WEBサイト
URL : <https://hyogo-no-ki.jp/>
「ひょうごの木」Instagram
URL : https://www.instagram.com/hyogo_no_ki/



WEBサイト



Instagram